

# 金色千年

konjiki sennen



## ご挨拶

平成30年7月、一般財団法人「佐渡文化財団」が発足しました。その設立目的は、佐渡の伝統文化の継承活動の奨励及び支援として、綿々と受け継がれてきた文化財を「佐渡の宝」として保護し、後世に守り伝える活動や活用に関する支援を行うためです。そして、知的関心の強い文化事業や地域独自の文化活動に触れる機会をお届けし、佐渡の文化振興を図るための啓発活動と情報発信を行います。

豊かな自然が息づく佐渡は、古くからの歴史や多様な文化が魅力と活力を生み、地域市民の心に安らぎと豊かさをもたらすことで、生き活きとした暮らしを実現させています。平成から令和へと時代の流れとともに人々の価値観や生活スタイルは大きく変化し、その変わるスピードが加速度を強める社会において、歴史・芸能・工芸などの記録、文化資料の調査や保存も重要な事業となり、特に少子高齢化による後継者不足の影響は顕著であり人材の育成は急務です。

このような中で、当法人への期待はますます高くなっています。その期待に添うべく私たちも積極的に各事業に取り組んでいく所存です。市民の皆様、関係団体の皆様におかれましては、なお一層のご理解とご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

一般財団法人佐渡文化財団  
代表理事 渡邊秀則



佐渡文化財団  
Sado Cultural Foundation

広報誌タイトルの「金色千年」は、今昔物語集に記された砂金や天領となった佐渡金銀山、そして、鉱山の近代化まで、「金」をめぐる千年の物語へ思いを馳せるとともに、悠久の歴史が織り成した佐渡文化への敬意を表しています。

「佐渡ヶ島謡踊団」は佐渡の伝統芸能をPRする創作芸能集団です。若者が気軽に参加でき練習に励むことで、伝統芸能の継承に寄与しています。当法人は、芸能の普及啓発、観光振興、地域活性化などを目的に、この団体の派遣事業を行っています。

今年度は新潟イオンモール南店でのイベントをはじめとした8ステージに出演しました。主に佐渡の三大民謡を披露し、佐渡おけさの体験講習も行うなど、民謡に触れる機会も提供しました。

また、「鬼太鼓」+「民謡」の新しい演出によるステージなど、創作としての形態からも佐渡芸能の魅力を広く発信しました。さらには、日頃から文化の保存活動にご尽力いただいている既存の芸能団体と一緒に活動できる体制を作り、多くの人を巻き込んだ活動ができるようになりました。

次年度もSNSなどを通して派遣事業の様子を発信していきます。



## 講師派遣事業

当法人では、芸能文化の担い手不足解消を目的とし若年齢層からの底上げを目指すべく、芸能団体や有識者の方を教育現場へ派遣しています。

今年度は、相川小学校から「佐渡おけさの歴史を学びたい」とご相談いただき、佐渡民謡評論家である渡辺和弘さんを講師として派遣。さらに、佐渡総合高校からの「佐渡おけさの授業を行いたい」という依頼に、

佐渡民謡界の大御所である杉山民友会の杉山重信さんを派遣しました。

郷土愛の醸成や伝統文化の継承のためには、このような取り組み（教育）がとても重要です。当法人は次世代への継承活動を全力で応援し、依頼や相談を気軽にできるような体制づくりを進めています。



## 第4回 佐渡民謡の祝祭

9月22日（日）に、「第4回 国民文化祭にいがたSpecial」として両津文化会館にて開催され、共催・受託事業として参画しました。

次世代への継承を目的に、佐渡の民謡団体が一堂に会した佐渡民謡の祝祭。島内各地に伝わる古民謡から、全国に知れ渡る代表的な民謡まで、個性豊かな民謡が披露されました。

さらに今回は、石川県から中能登民謡会、熊本県から牛深ハイヤチームといった島外からのゲスト出演も。牛深ハイヤは佐渡おけさのルーツと言われる民謡で、サプライズ演出を行うなど会場をひと際盛り上げていただきました。

出演者等も含め、約900人の方がご来場ください、大盛況のうちに終えることができました。



□熊本県  
牛深ハイヤチームの皆様



## 伝統構法の再興

島内には数多くの社寺建築が残されていますが、その多くは江戸期に建て替えられており、金山の繁栄や北前船の往来に影響を受けたとされています。そこで「工匠」に注目し、普段公開されていない建物内部の撮影やドローンを用いた空撮などを行い、アーカイブ作成および動画の作成を行いました。

そして、今回のアーカイブ作成で参考にさせていただいた芝浦工業大学の調査を島内の方々にも知っていたらしく、講演会を企画いたしました。残念ながら新型コロナウイルス感染症の影響で開催延期としましたが、改めて開催する際には皆様の



□妙宣寺 五重塔



□牛尾神社



□実相寺

ご来場をお待ちしております。

島内には指定、未指定に関わらず、多くの歴史的建造物が残されており、これらの保存や活用に市民の皆様が積極的に参加していただければと願っています。そのためにも、職人の育成や材料の確保などの保存に繋がる取り組みを行い、公開や利用などの活用策を提案していきます。



## 茅葺き文化の振興



茅葺き屋根は、その昔「結い（島内では“いい”と呼ぶ）」と呼ばれる相互扶助によって屋根葺きが行われていました。しかし、時代の流れとともに茅葺き屋根が減り、「結い」も失われていきました。現在、佐渡島内には50棟以上の茅葺き屋根があるとされ、その中には能舞台をはじめとした文化財も多く含まれており、茅葺き屋根の保存は文化的景観の継承のためにも重要です。

当法人では11月30日（土）に茅葺き文化の振興の一環として、「ワークショップ茅刈りとティピ作り」を実施しました。茅刈りとティピ作りの作業を子どもから年配者まで幅広い世代の方々に体験していただくことで、茅葺きの文化や技術の理解を深めることができ、大変有意義なワークショップとなりました。

今後は、ワークショップの継続とともに「茅刈り」に焦点を当て、昔は島民それぞれが茅を刈り、持ち寄ったことに倣い、現代に合う茅刈りと茅の供給を地域ぐるみで行えるような仕組みづくりを目指します。



□蓮華峰寺 骨堂



## 技巧品の開発

かつて島内では高度な木工造作技術を持つ職人達が腕を競い合い、船箪笥や八幡箪笥といった質の高い木工品を製作していました。たらい舟も島独特の環境下で生まれた貴重な造作物ですし、船大工が活躍した宿根木の建造物には工匠達の技術力が刻み込まれています。

このような、木工造作技術保持者の育成と社寺建築の保全に向けた環境整備や体制作りを視野に入れた事業として、「技巧品の試作品開発」を実施しました。今後は船箪笥から生活雑貨まで、多様な技巧品を開発して利用を促しながら工匠の育成を図ります。





## わら細工ワークショップ

2月8日(土)あいぽーと佐渡にて、伝統技術の継承と芸能道具の振興を目的とし「わら細工ワークショップ」を開催しました。かつて、生活に欠かせないわら細工は、各家庭で作られていました。今もワラジは鬼太鼓に欠かせない芸能道具として使われています。

今回のワークショップは、現役でワラジを作っている方を講師としてお招きし、午前は基本の縄ない、午後は応用のワラジ作りを実施しました。参加者は10~80代までの幅広い年齢層で、和気あいあいと世代間交流ができました。募集人数を大幅に上回るお申し込みとマスコミからの取材も受け、ワークショップは広く知られることとなりました。



## わら細工 手作りキット「縄ない」開発

わら細工の基本的な技術である「縄ない」を幅広い年齢層の方々に手軽に体験していただける手作りキット「縄ない」を開発しました。

昔ながらの手わざ、自然素材の民具等の関心は高まっていますが、「素材調達が困難で始めるきっかけも作れない」、「素材はあるが、下処理のやり方が分からぬ」などの声も多く聞かれます。市場でも、わら細工下処理済みのわらを販売している業者は皆無であり、わら細工を始めるハードルが高いことが分かりました。

このハードルを下げるため、費用も安価で様々な汎用性を持ち合わせているキット形式を採用しました。

袋を開封したら、すぐに縄ないから縄を使ったお飾りまでが体験できます。さらに、縄ないの手順をより分かりやすく解説するため、「縄ないHOWTO動画」も制作し、説明書に動画QRコードも添付しました。パッケージはわらの素材を前面に出し、素材の良さをアピールしています。



## 佐渡伝統工芸実態調査事業

佐渡は江戸時代に金銀山の開発によって全国各地から多くの人々が集まり、栄え、今もなお数々の歴史・文化・技術が残る島です。島内各地で伝承されてきた、様々な用具、用品を製作加工する伝統技術は大変貴重な財産です。しかし、化学製品の登場や生活様式の変化によって、伝統工芸品の需要が激減し、廃業する人が増え、職人の高齢化や後継者不足によりその技術が失われつつあります。

本調査は、昭和62年度から2か年に渡って新潟県教育委員会が行った調査「新潟県の諸職」(諸職関係民俗文化財調査報告書)以降に同様の調査が行われていないことから、佐渡における伝統工芸技術の現状をできるかぎり把握し、関係資料の収集・保存・活用、さらには、継承・情報発信を目的に実施しました。





## 伝統芸能楽器等貸出事業

佐渡が誇る芸能文化の継承を図る目的で取り組んでいます。地域のお祭りや公民館活動、それに、学校行事など様々なシーンでどなたでもご利用できます。お気軽にお問い合わせください。



### ■貸し出しできる楽器等 (貸し出せる楽器などは下記リストのほかにもございます)

名称	数量	付属品等	1日単位
締太鼓	16	バチ・太鼓台	500円
三味線	19	バチ・駒・替糸・指かけ・調子笛・布巾	500円
篠笛2本セット	15	つゆきり (笛は5本調子・7本調子)	200円
仕舞扇 紺	20	(白地色降五雲)※ほかに緑と赤をご用意しております。	100円
鬼面 赤・青・茶	各1		500円
鬼衣装 赤・青・黒	各1	上着・モンベ・脚絆・胸当・手甲・帯・タスキ・吹き流し	500円

※学校や子ども会など教育目的でご利用いただく場合は無償貸与となります (変更となる場合があります)。



◀詳細はコチラへ



※写真はオーダーメイドおけさ笠です。



## 文化的グッズ等販売事業

あなたも佐渡文化に触れてみませんか。詳しくは公式ホームページをご覧ください。▶ [www.sado-bunka.or.jp](http://www.sado-bunka.or.jp)

### ●おけさ笠

大人用 直径 54cm ほか 5,000円 (税込)

子ども用 直径 40cm ほか 4,500円 (税込)

佐渡民謡 (佐渡おけさ・相川音頭等) に使用するおけさ笠です。佐渡の職人が熟練の技でイ草を加工し、1つずつ丁寧に編み上げた製品です。

### ●オーダーメイドおけさ笠

大人用 6,000円 (税込)

子ども用 5,500円 (税込)

おけさ笠のリボンを、お好きなものにカスタマイズできます。

### ●わら細工 手作りキット「縄縫い」

1セット 500円 (税込)

佐渡産コシヒカリを丁寧に下処理したわらで縫ない体験ができます。縫ないとは、わらを加工する基本の技術で、わらをより合わせて1本の縫を作ることです。



## ようま芸能絵巻

令和元年度は、第34回 国民文化祭・にいがた2019 第19回 全国障害者芸術・文化祭にいがた大会が盛大に開催されました。このなかで当法人は、佐渡市のコア事業として「ようま芸能絵巻」を企画・運営しました。

相川地区にある佐州お~やり館にて、文弥人形、民謡、民話、やわらぎ節、春駒を一举に観賞しながら、地元の飲食店組合が丹精込めてこしらえた料理と地酒に舌鼓を打つという、いわば、お座敷芸の再現を試みたものです。

今後も創意工夫した佐渡文化を活用するなどして芸能PRと交流人口拡大へ結びつけます。



一般財団法人

# 佐渡文化財団

2018年7月2日 設立

## 私たちが目指すこと

悠久の歴史と豊かな自然が織り成す佐渡ヶ島。今も遺る多くの文化資産は世界に誇るべき宝物です。しかし、その貴重な宝物の存続が危ぶまれる事態となっており、我々佐渡文化財団は、そんな市民の財産である佐渡文化を守りながらも、**継承・活用・発信**する団体として誕生しました。佐渡ヶ島の文化が世界中で愛されるコンテンツとなるよう努め参ります。

## 三信条

### 継承

将来に渡って佐渡文化を支える人材の育成を目的とし、主に若い世代へ働きかけ、健全で能動的な佐渡愛が醸成されるよう教育機関などと連携して取り組みます。加えて、あらゆる世代を対象とした研修会やワークショップなどの運営で、佐渡文化の価値を再発見してもらいながら当事者として市民一人一人が佐渡文化の継承者であるという意識を高めてもらうべく、有意義で多角的なアプローチを実施します。

### 活用

佐渡ヶ島には多くの文化財があり、今なお、地域や住民の宝として親しまれ守られています。荘厳な建造物や古式ゆかい芸能、それに、用の美と匠の美を併せ持つ工芸品など、それぞれの分野で思い思いの触れ合いがあり島の暮らしに瑞々しい活力を与えています。我々は、そのような文化的景観に敬意を表しながら、純真なる伝統を尊びつつ新しい佐渡文化の創生にも挑戦していく所存です。

### 発信

佐渡文化を普く伝える。この使命を適切に実行するべく、絶えず多様な文化を学び正しく理解したうえで公開します。また、情報を伝達する手段が発達した時代において、より多くの人へより効果的に伝わる発信力を備えた新しい技術を用いつつ、島内外を問わず佐渡の愛好家を開拓し交流人口の拡大を図ります。

### CI計画

コーポレート・アイデンティティ

佐渡文化財団  
シンボルマーク



# 佐渡文化財団

Sado Cultural Foundation

コンセプトは『伝播』とし、過去から現在、そして、未来へと文化を継承し広く伝える想いを表現しています。また、大佐渡山脈と小佐渡山脈の重なり、古来から現在に至る海上交流を表す波、それに、未来を指す矢印を造形要素として含みます。加えて、版画の風合いをテクスチャーとして持たせることで、先人達が織り成してきた手作りの文化をリスペクトし、それを掘り下げて探求するという意志を込めています。

佐渡文化財団  
コーポレート・コピー

# この星の宝もの

『佐渡文化は人類の宝』とする主旨に依拠し、地球上にある多様な文化との共生を図りながら、生み出された価値を絶えず磨きあげ、世界文化の中心的な存在となる意志を込めています。